女性つながりサポート等事業 【大府市】

 総事業費
 1, 100 fm

 交付金額
 550 fm

地域の実情と課題

全国的にみて、女性の就業率が低い傾向にある。そのため、コロナ禍も一因となり、女性の悩みごと相談が増加し、特に離婚に関する相談が増加している。

また、女性の居場所として昨年度様々な講座を実施したが、 「貧困等を周囲に知られたくない。」といった心情に配慮する必要 がある。

目的·目標

法律相談回数を増加し、相談員スキルアップ講座を実施するなどして相談体制を充実して、深刻化する相談に対応する。

不安や困難を抱える女性がセルフケアなどを学びながらリフレッシュし、他の参加者と顔なじみになれる場を用意する。

- 〇メンテナンス講座から相談に繋がる件数:5件
- ○法律相談の延べ相談件数:24件

事業の特徴

「女性の悩みごと相談」をベースとして弁護士相談を拡充したり、 若年女性を対象とするため、市内の大学に出張相談をするなどし ている。

居場所事業である「ココロとカラダのメンテナンス講座」は毎月実施しているが、不安や困難を抱える女性が参加しやすいよう、各回毎に参加できるようにし、相談員も参加し、相談に繋げられるようにしている。

連携団体

- 〇市内2大学(大学サテライト相談会場提供)
- 〇市内医療機関(精神科医紹介)
- 〇若者サポートステーション受託団体(相談員養成講師派遣)
- 〇ウィメンズカウンセリング名古屋(相談員養成講師派遣)
- ONPO法人みゅー・ぷらんおおぶ(事業受託団体)

事業の効果

相談から「ココロとカラダのメンテナンス講座」に繋がった件数:5件「ココロとカラダのメンテナンス講座」から相談に繋がった件数:1件※電話相談は除く(電話では氏名等をお聞きしないため。)

メンテナンス講座に参加し、参加者同士で雑談などをする中で気持ちが楽になり、仕事を探すなどの前向きな活動に繋がるケースがあった。

相談事業のPRのため生理用品等を配布し、相談増加につなげている。

今後の課題

「ココロとカラダのメンテナンス講座」は内容によっては一般の方に人気が出てしまい、本来の対象者が参加しにくくなる可能性がある。ある程度の一般の参加は大変効果的だが、本末転倒にならないような線引きが必要である。

若年層の女性にむけて大学サテライト相談を実施していたが、相談者が少なかったため、サテライト相談は廃止とした。若年層の女性向けの施策のあり方が課題である。

事業の概要

居場所サロン



相談窓口

ミューいしがせ

女性の悩みごと相談

相談員の声掛け

ひとりで悩んでいませんか

女性相談員があなたの話を お聞きします

相談 無料

秘密 厳守

リフレッシュ

セルフケア

エンパワーメント

電話相談 休館日を 除く毎日 メール相談

面接相談 予約制 第1・3月曜日 及び 月2回木曜日 ※月曜日のみ オンライン可

法律相談 予約制 毎月 第2水曜日

随時受付

その他に ココロとカラダを癒す講座を開催しています

相談窓口の周知

相談PRカードの配布、 生理用品を啓発資材として配布 大学サテライト相談での周知

ホームページ http://www.medias.ne.jp/~is/gase/

THE REAL PROPERTY OF THE PROPE

相談員への支援

スーパービジョン (フェミニストカウンセラー、精神科医) 相談員ステップアップ講座